



区内100か所で一斉震災訓練！

—練馬区初！災害協定自治体の食材で炊き出し訓練—

と き 9月8日(日) 午前8時30分～12時30分

ところ 練馬区役所本庁舎、全避難拠点(全区立小中学校:99か所)、防災フェスタ会場(中村西小学校)

8日、区内100か所で「練馬区震災総合訓練」が一斉に行われ、区民や各防災関係機関の職員など約4300人が参加した。

訓練では避難拠点の開設訓練をはじめ、災害時に傷病者(軽傷者)の対応をする医療救護所訓練として、トリアージ訓練や近隣病院への搬送訓練などが行われた。

「防災フェスタ」の会場である中村西小学校には、起震車による地震体験や初期消火体験、災害用伝言ダイヤルの利用体験コーナーなどが設けられた。また、区と災害協定を結ぶ自治体に親しんでもらおうと、自治体の概要や取り組みを紹介したパネル展示や、各自治体産の食材で作る「協定自治体連携うどん」が1000食分用意され、参加者に無料で振る舞われた。

この日、フェスタに参加した女性は「区や近隣の自治体、色々な組織の人たちが災害に向けて準備や取り組みをしていることを知りました。心強く思うと同時に、私たちも日頃の備えをしなければと思いました」と話してくれた。



【初期消火訓練の様子】



【防災フェスタ会場の様子】

1 避難拠点開設訓練・・・(区内の全避難拠点(全区立小中学校99か所)で一斉に実施)

全ての学校から21校の情報拠点校を経由して、災害対策本部へ避難拠点の状況を報告する無線通信訓練が行われた。その後、煮炊きバーナーや発電機などの資器材の操作訓練や、備蓄倉庫内の状況を確認する訓練などが行われた。また、一部の拠点では、民生・児童委員、防災会と連携した災害時要援護者安否確認訓練や、区内設備業者の協力によってマンホールトイレ設置訓練も実施された。

2 医療救護所訓練・・・(区立関中学校で実施)

トリアージ講習会と、トリアージ訓練が行われた。次々に来場する怪我人がトリアージされ、「緑」と判定された怪我人はその場で応急処置、「赤」と判定された怪我人はたんかや車に乗せられ、近隣の病院までの実際に搬送する訓練が行われた。

3 防災フェスタ・・・(区立中村西小学校で実施)

「子どもからお年寄りまで、地域の皆さんが一緒になって、防災を身近に感じてもらう」ことをテーマに開催。起震車による地震体験や初期消火訓練などの体験型訓練のほか、ライフライン機関や区内の様々な企業によるブース展示が行われた。また、はしご車やパトカー、白バイの乗車体験コーナーを設置されたほか、長野県上田市から派遣された給水車による給水訓練も実施された。

炊き出し訓練は特製うどんを用意。練馬区と災害時の協定を結ぶ自治体から食材を取り寄せた。「長野県上田市の味噌」、「群馬県館林市のうどん」、「前橋市の豚肉」、「下仁田町のこんにゃく、しいたけ」、「福島県塙町の大根」、「埼玉県上尾市の玉ねぎ」、「新座市のごぼう」、「武蔵野市のにんじん」、練馬区のねぎを入れ、「協定自治体連携うどん」が完成。炊き出しは日頃から運営に携わっている中村西小学校避難拠点運営連絡会が担当し、1000食のうどんを6つの釜と10個のざるでゆであげられた。